

# 始良・伊佐地域 感染症情報

## 2019年第35週報 (8月26日～9月1日)

発行：始良・伊佐地域振興局保健福祉環境部 発行日：令和元年9月4日

【お問合せ先】鹿児島県始良保健所 TEL (0995) 44-7956 / FAX (0995) 44-7969

感染症情報は、始良・伊佐地域振興局ホームページに掲載しています！

**大口保健所管内で「RSウイルス感染症」、始良保健所管内で「インフルエンザ」の定点当たり報告数が多くなっています！**

### ★ 全数把握疾患の報告数 ※ [ ] 内は本年累積患者報告数

種別	大口保健所管内	始良保健所管内	鹿児島県(速報値) ※修正される可能性があります。
一類感染症			
二類感染症	結核(無症状病原体保有者) 1 [19]	結核(肺結核) 1 [12]	結核8 [256]
三類感染症			腸管出血性大腸菌感染症1 [32]
四類感染症			日本紅斑熱2 [12]
五類感染症	百日咳1 [15]		ウイルス性肝炎(E型・A型を除く) 1 [3], カルパネム耐性腸内細菌科細菌感染症1 [18], 後天性免疫不全症候群1 [6], 侵襲性肺炎球菌感染症1 [22], パンコマイシン耐性腸球菌感染症1 [1], 百日咳7 [625]

### ★ 定点把握疾患の報告数

定点報告疾患	警報基準値		注意報基準値	大口保健所管内				始良保健所管内				県全体		
	開始基準値	終息基準値		1週前	今週		1週前	今週		今週				
				定点当たり報告数	報告数(人)	定点当たり報告数	前週からの増減	定点当たり報告数	報告数(人)	定点当たり報告数	前週からの増減	報告数(人)	定点当たり報告数	前週からの増減
インフルエンザ	30.00	10.00	10.00	0.00	0	0.00	→	0.09	11	1.00	↗	22	0.24	↗
RSウイルス感染症	-	-	-	5.00	10	10.00	↗	2.57	41	5.86	↗	222	4.11	↗
咽頭結膜熱	3.00	1.00	-	0.00	0	0.00	→	2.43	6	0.86	↓	46	0.85	↓
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.00	4.00	-	2.00	3	3.00	↗	0.43	5	0.71	↗	75	1.39	↗
感染性胃腸炎	20.00	12.00	-	0.00	0	0.00	→	4.57	38	5.43	↗	248	4.59	↗
水痘	2.00	1.00	1.00	0.00	0	0.00	→	0.00	0	0.00	→	3	0.06	↓
手足口病	5.00	2.00	-	0.00	3	3.00	↗	0.71	3	0.43	↓	63	1.17	↗
伝染性紅斑	2.00	1.00	-	0.00	0	0.00	→	0.43	4	0.57	↗	64	1.19	↗
突発性発しん	-	-	-	0.00	1	1.00	↗	0.86	3	0.43	↓	22	0.41	↓
ヘルパンギーナ	6.00	2.00	-	0.00	3	3.00	↗	1.29	13	1.86	↗	105	1.94	↗
流行性耳下腺炎	6.00	2.00	3.00	0.00	0	0.00	→	0.00	1	0.14	↗	8	0.15	↗
急性出血性結膜炎	1.00	0.10	-	/	/	/	/	0.00	0	0.00	→	0	0.00	→
流行性角結膜炎	8.00	4.00	-	/	/	/	/	2.00	1	1.00	↓	20	2.86	↓
細菌性髄膜炎	-	-	-	0.00	0	0.00	→	0.00	0	0.00	→	0	0.00	→
無菌性髄膜炎	-	-	-	0.00	0	0.00	→	0.00	0	0.00	→	0	0.00	→
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	1.00	0	0.00	↓	0.00	0	0.00	→	0	0.00	↓
クラミジア肺炎	-	-	-	0.00	0	0.00	→	0.00	0	0.00	→	0	0.00	→
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	0.00	0	0.00	→	0.00	0	0.00	→	0	0.00	→
インフルエンザ入院患者(人)	-	-	-	0	0	/	→	0	0	/	→	集計中	/	→

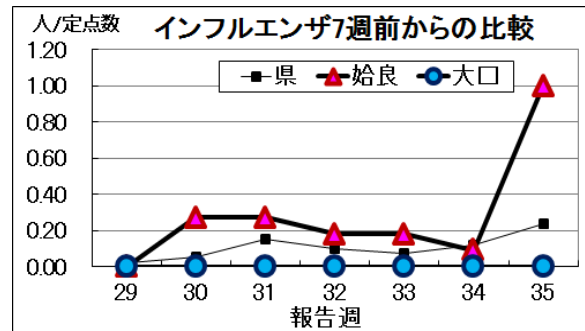
※ 警報・注意報の「-」は対象としないことを意味します。

※ 警報・・・赤字の太枠部分, 注意報・・・斜体文字で黄色の網掛け部分

## ☆ 今週の主な感染症の動向

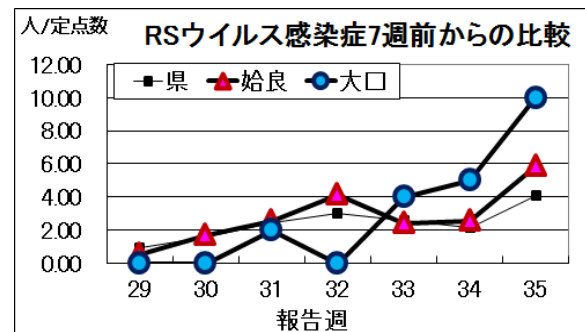
### ○インフルエンザ

今週、**大口保健所管内**におけるインフルエンザの患者報告はありません。**始良保健所管内**の患者報告数は、前週より10人多い11人（定点当たり1.00人）に急増し、定点医療機関からの情報によると、全てA型とのことです。また、流行開始の指標である定点当たり1.00人を超えており、過去10年間の同時期では、最多となっています（2009年：定点当たり0.64人。2009年以外：0.00人）、年齢群別の患者数は、5～9歳が約半数を占めています。また、今週、始良保健所管内の医療機関からA型インフルエンザによる院内集団発生の報告もありました。**県全体**では、前週の2倍の22人（定点当たり0.24人）に増加しています。



### ORS ウイルス感染症

今週、**大口保健所管内**におけるRSウイルス感染症の患者報告数は、前週より5人多い10人（定点当たり10.00人）となり、3週連続で増加しています。**始良保健所管内**の患者報告数も、前週の2倍以上の41人（定点当たり5.86人）に増加しています。**県全体**でも、前週の約2倍の222人（定点当たり4.11人）と増加しています。乳幼児や高齢者等の集団生活施設では、マスクの着用等、咳エチケット、手洗い又は速乾性擦式アルコール製剤により手指衛生を励行する等、施設全体で取り組む必要があります。



## ☆ 今週のトピック 「インフルエンザの感染予防・感染拡大防止法について」

今週、始良保健所管内でインフルエンザの患者報告数が急増しており、隣県の沖縄県では、3週間前から流行発生注意報基準値（定点当たり10.00人）を超え、今週は定点当たり20.31人に上っています。冬季のみならず、以下の感染予防及び感染拡大防止対策に努める必要があります。

**手洗い等**：手洗いはウイルスを物理的に除去するために有効な方法であり、感染症予防対策の基本です。外出後の手洗い、うがいは一般的な感染症の予防のためにも効果があります。

**適度な湿度の保持**：湿度を50～60%に保つことは効果があるとされています。

**十分な休養とバランスのとれた栄養摂取**：からだの抵抗力を高めるために心がけましょう。

**咳エチケット**：他の人への感染拡大の防止のため、咳などの症状のある方は、マスク（不織布）を着用しましょう。マスクがない場合は、ティッシュなどで口と鼻を押さえ、他の人から顔をそむけて1m以上離れましょう。鼻汁・痰などを含んだティッシュはすぐにゴミ箱に捨てましょう。また、咳などをしている人にマスクの着用をお願いしましょう。

**共用部分の消毒**：インフルエンザウイルスは、手で触れた物の表面に生存しています。共用部分（ドアノブ、手すり、電気のスイッチ、テーブル、イス等）については消毒を行いましょう。

**出席停止の期間**：発症後5日を経過し、かつ解熱後2日（幼児では3日）を経過するまで〔学校保健安全法施行規則の一部改正：平成24年4月1日施行〕

**集団発生等の報告**：医療機関や社会福祉施設等において集団発生を疑う場合は、厚労省通知に基づき、最寄りの保健所への報告が必要です。感染拡大前に、早めの相談をお願いします。